

みえ県議会だより

NO. 176

令和2年
(2020年)
5月1日



赤目四十八滝 不動滝 (名張市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL http://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook)



▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ

～令和2年度当初予算や新型コロナウイルス感染症への対応などについて議論～

令和2年三重県議会定例会(1月～3月開催分)

今後4年間の県の戦略計画である「みえ県民力ビジョン・第三次行動計画」、そのスタートとなる令和2年度の当初予算など、多数の重要な議案等を審議・可決しました。新型コロナウイルス感染症対策に関しては、その取り組みに関する議論や国に措置を求める意見書案の審議等を行いました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会の取り組み、選挙区及び定数に関する在り方調査会において中間報告(論点整理)を取りまとめ
- 2～3面 代表質問、一般質問
- 4面 一般質問、用語解説、三重県産材利用促進に関する条例検討会を開催、三重県議会定例会今後の日程(予定)、みえ県議会出前講座のご案内

審議結果

2月定例会会議(2月17日～3月19日)

可決した議員提出議案

○三重県議会会議規則の一部を改正する規則案

可決した議案

○令和2年度三重県一般会計予算 ほか34件

予算

○令和2年度三重県一般会計予算 ほか34件

条例

○三重県水産業及び漁村の振興に関する条例案

○三重県防災対策推進条例案

ほか38件

その他議案

○みえ県民力ビジョン・第三次行動計画の策定について ほか13件

○三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画の変更について(修正可決)

人事案件(同意)

○副知事の選任につき同意を得るについて ほか3件

採択した請願

○自動車関係諸税等の見直しについて

可決した意見書案

○新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書案

○自動車関係諸税等の見直しを求める意見書案

○CSFの防疫対策の強化等を求める意見書案

○種苗法の改正について慎重な審議を求める意見書案

3月会議(3月31日)

可決した議案

○令和元年度三重県一般会計補正予算(第10号)

○令和2年度三重県一般会計補正予算(第1号)

条例

○三重県県税条例等の一部を改正する条例案

その他議案

○和解について

※議案の概要、議員別の賛否等の状況や請願・意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

審議結果と主な開催実績

主な開催実績

1月 15日 本会議(開会)

開会ほか
外国人労働者支援調査特別委員会
委員長報告案について

2月

3日 外国人労働者支援調査特別委員会
委員長報告案について 他

17日 本会議

議案71件上程
予算決算常任委員会
参考人からの意見聴取
外国人労働者支援調査特別委員会
委員長報告案について 他

25日 本会議

代表質問(4人)、議案に関する質疑(5人)、意見書案1件上程・可決

27日 本会議

一般質問(5人)
予算決算常任委員会
議案の審査

3月

2日 本会議
一般質問(4人)、議案1件可決

3日 本会議
議案19件上程
外国人労働者支援調査特別委員会
委員長報告(最終案)について 他

5日 本会議

一般質問(5人)
予算決算常任委員会
予算総括質疑

6日 各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査 他

9日 各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査 他

17日 予算決算常任委員会
議案の審査

19日 本会議
議案89件可決、請願1件採択、意見書案3件上程・可決、人事同意議案4件上程・同意

31日 本会議
議案4件上程・可決
医療保健子ども福祉病院常任委員会
議案の審査
予算決算常任委員会4分科会
議案の審査
予算決算常任委員会
議案の審査

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、議案聴取会、広聴広報会議、委員長会議など、さまざまなかき入れを行いました。
※議員の各質問は、2ページ以降に掲載しています。
本会議等はインターネット中継や録画配信でもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症対策に関する議会の取り組み

令和2年2月25日、議員発議による「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」を全会一致で可決し、翌日、中嶋議長が関係機関等に提出しました。内容は、必要な診察・検査体制の強化や、マスク等の医療物資の確保、地域経済への影響の把握と必要な対策などを求めるものです。

3月6日には県に対する各議員の質問を前面でとりまとめ、県当局に回答を求めました。3月19日には全員協議会を開催し、知事から県の対策について説明を受けました。議員からは、さらなる医療提供体制の充実や医療物資の確保等を求める意見が出されました。3月31日には、医療機関や中小企業等への支援などを含む令和元年度および2年度の補正予算(約10億円)を迅速に審議し、可決しました。

新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報は県議会および三重県のホームページでご確認ください。

選挙区及び定数に関する在り方調査会において中間報告(論点整理)を取りまとめ

大学教授など外部の有識者8名で構成する「選挙区及び定数に関する在り方調査会」は、本年3月に、中間報告(論点整理)を取りまとめました。

中間報告(論点整理)は、今後の議論をより充実したものとするために、委員の多様な意見や考え方を幅広く記載したもので、主に、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」についての論点を示したうえで、論点を検討するに当たっての観点や具体的な考え方について整理しています。

今後、中間報告(論点整理)を踏まえて、さらに議論を深めていくとともに、「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」について調査を進め、本年8月を目途に最終報告を取りまとめる予定です。

※中間報告(論点整理)や調査会の各回の会議録、概要及び資料等は、三重県議会ホームページでご覧いただけます。



会議の様子

文中の傍線部分については、4ページに用語解説を掲載しています。

代表質問

① IIRに対する考え方に ついて

中村 進一 議員
(新政みえ/伊勢市選出)



問 IIR(カジノを含む総合型リゾート)特定複合観光施設)の整備計画が全国で3か所を上限に認定されるといわれている中、三重県は手をあげているわけではないものの、桑名市や三重県商工会議所連合会から県に、IIRの調査・研究の要望があったと聞きました。カジノ依存や青少年の健全育成、治安問題などを考えると、私は三重県にIIRは似合わないと思います。知事のIIRに対する考えをお聞かせください。

答 令和元年9月、三重県商工会議所連合会及び桑名市長からIIRの調査・研究の要望をいただいたことから、県としては、決して誘致ありきではなく、例えば隣県でIIRができた場合にどう活用するのかなども含め、さまざま観点から、中長期的な視点で研究を進めているところです。なお、同年9月の国からの意向調査に対しては、「区域整備計画の認定申請を行う予定はない」旨を回答しております。



その他の質問事項
○新型コロナウイルス感染症への対応について
○平和政策について
ほか



▲代表質問(中村進一 議員)

地球温暖化対策について

小林 正人 議員
(自由民主党県議団/鈴鹿市選出)



問 地球温暖化対策は、国家間レベルで話し合う大きな問題であると同時に、私たち一人ひとりが温暖化の現状や対策への理解を深め、真剣に取り組まないと決して前には進まない問題です。三重県は令和元年12月に、2050年までに県域からの温室効果ガスの排出実質ゼロを目指すことを趣旨とする脱炭素宣言を行いました。県としては今後、地球温暖化対策にどのような取り組んでいくのかお聞かせください。



答 脱炭素社会の実現に向けて、あらゆる主体がオール三重で再生可能エネルギーの導入・利用や資源利用の効率化などの取り組みを進めるとともに、技術やライフスタイルなどのイノベーションを促進していくことが重要です。そのため、県としては今後、2030年度を目標とする「三重県地球温暖化対策総合計画(仮称)」を策定するほか、県民、事業者、行政などで構成する「ミッシェンゼロ2050みえ推進チーム(仮称)」を立ち上げ、その後の主体的な取り組みにつなげてまいります。

その他の質問事項
○めざすべき三重・あるべき三重の姿とは
○子育て支援について
ほか



▲代表質問(小林正人 議員)

「三重ならではの価値」・「三重に行かなければ味わえない」を「新たな価値」につなげる

倉本 崇弘 議員
(草莽/桑名市・桑名郡選出)



問 観光振興基本計画の中には、「三重ならではの価値」を生かし、「三重に行かなければ味わうことのできない」新たな価値IIブランドと記載されています。私は、「三重ならではの価値」とは、「三重の持つ長い歴史と文化の中で培われてきたものを大切にすることであり、「三重に行かなければ味わうことのできない」新たな価値は、「三重に以前からあるものを大切にしながら三重にしかない価値を生み出す」と考えます。一方、IIRはこれらの考えと相容れないと考えますが、県の考えをお聞かせください。

答 本県には、日本の文化聖地とも言える文化・伝統、美しい自然、古来から御食国と謳われた豊かな食、その魅力を引き出す知恵と技術等が数多くあります。そういった三重の強みを最大限引き出す取り組みが「三重に行かなければ味わうことのできない」新たな価値であり、それを創出することで、三重の観光のブランド力を高め「三重に行つてよかった、また三重に行きたい」と思ってもらえるよう、しっかりと取り組んでいきます。



その他の質問事項
○新規就農について
○首長任期について
ほか



▲代表質問(倉本崇弘 議員)

真珠振興について

山本 教和 議員
(自民党/志摩市選出)



問 真珠は本県の地域経済を支える重要産業であり、三重の顔として国内外にその美しさを発信してきました。そのような中、令和元年7月に発生したアコヤガイの大量へい死により、今後の真珠生産への影響が懸念されています。一方で来年、太平洋・島サミットが開催されるなど真珠業界にとって良いニュースもあります。真珠振興における県の役割は非常に大きいと思いますが、アコヤガイ大量へい死の原因究明や真珠の魅力発信にどのように取り組んでいくのかお聞かせください。



三重県真珠振興協議会からの太平洋・島サミットにおける真珠のPR等に関する要望

答 令和2年度からは、これまでの取り組みに加え、水産研究所の体制強化や、関係者と連携したへい死等の原因究明等に取り組んでいきます。へい死等への対応については、一つ一つの課題を丁寧に検討しつつ、真珠養殖業者の皆さんに寄り添い、しっかりと取り組むとともに、太平洋・島サミット開催の機会を捉え、真珠の国内外への魅力発信に官民挙げて全力で取り組んでいきます。

その他の質問事項
○南部地域の今後の活性化について
○中小企業・小規模企業の振興について
ほか



▲代表質問(山本教和 議員)

一般質問

電線の地中化について

野村 保夫 議員
(自民党/鳥羽市選出)



問 道路の無電柱化の推進は、災害が発生した際の緊急輸送道路の機能確保など、「防災」の視点から重要なものと考えています。さらに、中長期的な観点からは、「防災」だけでなく、観光地周辺の道路の無電柱化による地域の活性化といった「景観形成」の視点も重要だと考えられます。

答 三重県における無電柱化の推進に関する考え方について、お聞かせください。

その他の質問事項
○豊かな海の再生について
○地域課題解決に向けた空飛ぶクルマの活用について
ほか



▲一般質問(野村保夫 議員)

骨髄バンク事業の取り組みについて

今井 智広 議員
(公明党/津市選出)



問 骨髄移植を求める方で適合者が見つかる確率は約95%ですが、実際にドナーから提供を受けられるのは60%未満と聞きます。それはドナーが仕事を休めないなどの事情があるからであり、ドナーの方への休業補償等が必要と考えます。平成30年2月に質問をした際には、県は前向きに検討することでしたが、令和2年度の取り組みについてお聞かせください。



答 骨髄提供の環境に交換を行う委員会の設立やクラウドファンディングを活用した普及啓発など取り組みを強化した結果、ドナー登録者数は大幅に増加しました。令和2年度は、この流れを一層加速させるため「三重県骨髄等移植ドナー助成制度」を設け、本制度を活用して全ての市町で制度が導入されるよう働きかけていきます。

その他の質問事項
○高齢運転者への交通安全対策及び私立高等学校授業料の実質無償化に対する県の対応について
○幼児教育・保育の無償化を受けた今後の取組について
ほか



▲一般質問(今井智広 議員)

県立水産高校の実習船「しろちどり」の代船運に向けた検討について

喜田 健児 議員
(新政みえ) 松阪市選出



問 県立水産高校の実習船「しろちどり」は、平成30年6月に浸水事故が発生するなど、その老朽化は、実習の履修にも深刻な影響を及ぼしています。未来の海運業で活躍する子どもたちの尊い命を守るためにも、実習船「しろちどり」については、代船建造に向けた検討を進めるべきだと思いますが、県の考えをお聞かせください。

答

「しろちどり」での航海実習は、水産教育の実践的な学びの場となり、仲間との協調性を身につける貴重な機会です。今後の水産高校の教育は、県内水産業の動向をふまえながら、子どもたちの学習ニーズ等に応えられるよう考えていく必要があり、実習船の今後については、このような状況を鑑み、検討していきます。



県立水産高校の実習船「しろちどり」

その他の質問事項

○公契約条例に関わっての「三重県建設産業活性化プラン」について
○「とこわかM-EEスター」トアップエコシステム
の具体的な取組等について
てほか



▲一般質問 (喜田健児 議員)

雲出川支川赤川の浸水対策の状況について

野口 正 議員
(自由民主党県議団) 松阪市選出



問 雲出川支川の赤川では、豪雨等による浸水被害が頻発し、地元住民はもとより、周辺道路を利用する方々にも被害が生じています。県管理河川赤川は、国管理河川雲出川の支川であることから雲出川を管理する国・県が調整を行い、豪雨等の際のバックウォーター対策として一体的な整備を進めていただいているところですが、整備の現状と今後の対策についてお聞かせください。



雲出川支川赤川

答

赤川の河川整備は、雲出川の堤防整備と一体となって実施する必要があります。現在、国において雲出川の河道掘削工事で発生する残土を活用して堤防をかさ上げする準備工を実施しているところですが、県としては、早期に赤川の河川整備が進められるよう、国と十分に連携・調整を行ってまいります。

その他の質問事項

○道路・河川の雑木や草刈りの維持管理状況について
○国家「君が代」の指導状況について
てほか



▲一般質問 (野口 正 議員)

ICTを生かした医師のキャリア支援や救急医療の充実を

東 豊 議員
(革新) 尾鷲市・北牟婁郡選出



問 三重県は医師少人数であり、東紀州医療圏は医師少数区域です。医師不足や偏在解消に向け、地域の若手医師のキャリア形成支援のため、ICTを利用した遠隔カンファレンス(テレビ会議)の実施が望まれます。また、日常の通院の困難さから在宅医療に移行するとともに、患者と医療機関、医師と医師の間で積極的にICTを活用すれば患者の利便性も向上します。県の考えをお聞かせください。

答

令和2年度は、ICTを活用した医療機関のシステム整備への支援を計画しています。例えばWEB会議により地域の病院に派遣されている若手医師が大学病院等のカンファレンスに参加したり、大学病院が東紀州地域の病院の画像診断を支援したりするなど、若手医師のキャリア支援や救急医療の充実に取り組みしていきます。



その他の質問事項

○スペイン・バスク自治州と三重県との交流について
○重要港湾尾鷲港の港湾計画について
てほか



▲一般質問 (東 豊 議員)

大杉谷ビジターセンターの設置について

西場 信行 議員
(自民党) 多気郡選出



問 大杉谷峡谷の豊かな自然の魅力を発信するためには、自然環境の情報展示や、体験学習、調査研究等ができるビジターセンターが必要と考えますが、大杉谷が所属する吉野熊野国立公園内には、大杉谷を主とするビジターセンターは設置されていません。大杉谷の観光振興の柱としてビジターセンターを設置することが有効と考えますが、県の考えをお聞かせください。



大杉谷登山歩道

答

ビジターセンターは、公園利用者の自然・歴史・文化への理解の促進や魅力発信に有効と考えており、大杉谷地区へのビジターセンター設置に向けては、環境省、大台町、三重県の三者で昨年6月から協議を始め、課題等を整理しているところです。引き続き、国立公園を所管する環境省に対して国直轄によるビジターセンターの設置を要望していきます。

その他の質問事項

○三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画の改定と施策推進
○地方創生取組とスーパーステイ構想
てほか



▲一般質問 (西場信行 議員)

民間人材の登用について

稲垣 昭義 議員
(新政みえ) 四日市市選出



問 全国の自治体では、民間人材を副業や兼業として採用する動きが出てきています。本県においてスマート改革を強力に進めていくため、総務部の「スマート改革推進課」と雇用経済部の「創業支援・ICT推進課」の統括的な立場として、民間人材を活用し、最高デジタル責任者CDOを設置してはどうかと考えますが、県の考えをお聞かせください。

答

令和2年度は、スマート改革に取り組み職場に対して、実行時の助言や実施後の効果測定・分析等について、外部の知見等を活用し必要なアドバイスを受けるための予算を計上することで、CDO的な機能を確保しています。今後は、こうした取り組みの結果等をふまえ、外部の知見等の活用について引き続き研究していきます。



その他の質問事項

○SDGsにおける都道府県の役割について
○児童相談所でのAI技術を活用した児童虐待対応について
てほか



▲一般質問 (稲垣昭義 議員)

成年年齢引下げを見据えた消費者教育について

木津 直樹 議員
(自由民主党県議団) 伊賀市選出



問 令和4年4月から、成年年齢は20歳から18歳に引き下げられます。未成年が親の同意なく契約を行っても、未成年取消権で親はその契約を取り消すことができますが、成年は親の同意無くさまざまな契約ができることから、消費者トラブルの発生が懸念されます。学習指導要領には消費者教育を適切に実施するとありますが、高等学校での取り組みについて教えてください。



答

成年年齢が18歳に引き下げられることをふまえ、高校では、特に契約の重要性や消費者保護の仕組みについて丁寧な指導を行っています。令和2年度以降の入学生は在学中に成年年齢に達するため、1・2年生のうちに、さまざまな具体事例を取り上げた、より実践的な学習を充実させていきます。

その他の質問事項

○中山間地域農業の振興について
○伊賀地域医療構想について
てほか



▲一般質問 (木津直樹 議員)

地方創生の実現に向けて

濱井 初男 議員
(新政みえ) 多気郡選出



問 県は「第2期三重ごと創生総合戦略」を策定し、SDG Society 5.0やSDGsの視点も取り入れながら、人口の自然減や社会減対策について、さまざまな施策に一体的に取り組み、地方創生を進めるとしています。地方創生には、まず、自分たちの課題を知り、地域を知り、若者の思いや考えを知ることが重要と考えますが、知事の考えをお聞かせください。

答

若者の考えを知ることが重要と考え、観望も重要と考えており、重視する政策等について高校生と大学生に意識調査も実施しています。今後、5Gをはじめとする飛躍的な技術革新が進み、人々の暮らしが大きく変わる可能性もあります。そのような動きも的確にとらえ、地方創生を日本創生につなげていくよう強い決意と覚悟で臨んでいきます。



その他の質問事項

○国際交流(友好・姉妹提携) 国・地域とのネットワークの維持強化について
○産業の振興について
てほか



▲一般質問 (濱井初男 議員)

段ボールベッドの備蓄について

田中 祐治 議員
(自由民主党県議団 / 松阪市選出)



問 避難所で亡くなる人が、後を絶ちません。その原因として、雑魚寝等で肉体的にも精神的にも負担が増大したことがあげられています。「簡易ベッドを置いた避難所の住環境は大幅に改善できる」とされていることから、速やかに段ボールベッドの供給が行えるよう、県の備蓄倉庫等に合計500台備蓄することを提案します。県の考えをお聞かせください。

答 災害時に速やかに届けられるよう、現在、協定締結に向け調整を行っている段ボールの組合に対し、平常時から現物で一定量を確保するよう協議したいと考えています。国に対しては、被災市町に行き渡るように、備蓄量を増やすよう提案するとともに、市町と確保手段等を検討していきたいと考えています。



段ボールベッド使用の様子

○内水面漁業の振興について ほか

○三重県農業研究所について
その他の質問事項



▲一般質問 (田中祐治 議員)

災害派遣福祉チーム(DWAT)の設置について

森野 真治 議員
(新政みえ / 伊賀市選出)



問 災害時の避難所生活における高齢者や障がい者、妊産婦など、要配慮者の心身状況悪化等の二次被害を防ぐためには、福祉的支援が重要と考えます。そのような支援を行うため、多くの府県では災害派遣福祉チーム(DWAT)が設置されていますが、残念ながら三重県は未設置の状況です。DWATの設置に向けてどのように取り組んでいるのか、お聞かせください。



答 令和2年3月、県と三重県社会福祉協議会、関係福祉団体との間で、DWATの派遣を含むネットワークの構築や介護職員の円滑な受入れに関する役割分担等を決めた災害支援協定を締結します。令和2年度には、その協定を踏まえ、DWATチーム員の募集、研修、訓練を行い、早期にDWATを派遣できる体制を構築していきたいです。

○公共交通機関の利用促進について
その他の質問事項

○情報セキュリティについて ほか



▲一般質問 (森野真治 議員)

朝日町、川越町の防犯対策について

服部 富男 議員
(自由民主党県議団 / 三重郡選出)



問 以前は、朝日町にも川越町にも駐在所がありました。平成17年に朝日川越交番に統合され、朝日町には交番・駐在所がなくなりました。その後、両町とも人口が増え、人口千人当たりの刑法犯認知件数も非常に多い状況です。そのような中、知事と朝日町長との1対1対談で交番設置の要望がありましたが、知事はどのように受けとめられているのか、お聞かせください。

答 令和2年度予算では老朽化した駐在所の建て替えや防犯カメラの設置などを優先し、交番・駐在所の新設は全体的に見送っております。朝日町の状況、町長や住民の皆さんの思いを重く受け止め、真摯に議論していきたいと思っております。議論が進む間も、地域の防犯活動には万全を期していきたいです。



KOBAN

○国道306号及び国道477号バイパスの整備について
その他の質問事項

○農業に使用する軽油引取税の免税について ほか



▲一般質問 (服部富男 議員)

東京圏一極集中是正への知事の考えについて

日沖 正信 議員
(新政みえ / いなべ市・員弁郡選出)



問 三重県は地方創生の名のもと、移住策や定住策など三重県の総合力で取り組んでいます。県外への人口流出は増えてきていくのが現状です。地方の人口減少は、東京圏一極集中という日本の構造を本気で変えるような大胆な政策でも行わない限り克服できないのではないかと思います。知事としての考えをお聞かせください。



答 国全体としての活力を維持していくためには、「地方への新しいひとの流れをつくる」ことで、過度の東京一極集中を是正する必要があります。本部長として、国への提言で実現した各種施策を、全都道府県が推進するようリードし、新しいひとの流れの創出等につなげ、地方都市部がともに輝く地方創生の実現を目指していきたいです。

○新型コロナウイルス感染症対策について
その他の質問事項

○新たな三重県教育ビジョンについて ほか



▲一般質問 (日沖正信 議員)

用語解説

1 IIR Integrated Resortの略で、地方自治体の申請に基づき設置される、カジノやホテル、ショッピングモールなどの商業施設や観光施設などを一体化した複合観光集客施設のことです。

2 バックウォーター 河川等の下流で起きた水位の変化により、川の流れがせき止められたり逆流するなど、上流に影響が及ぶことです。

3 ICT Information and Communication Technology(情報通信技術)の略で、情報処理・情報通信分野の関連技術の総称のことです。

4 SDGs Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、持続可能な世界を実現するため、国連加盟193か国が2016年〜2030年の15年間で達成する国際目標であり、貧困や健康、教育など17の目標、169のターゲットから構成されており、2015年9月の国連サミットで採択されました。

5 地方創生 東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることが目的とした政策のことです。

6 Society5.0 狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を指し、必要なもの・サービスを、必要な人・必要な時に、必要なだけ提供し、社会のさまざまなニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢・性別、地域、言語といったさまざまな違いを乗り越え、活き活きと快適に暮らすことのできる社会、超スマート社会のことです。

7 5G 5th Generation(第5世代)移動通信システム(5G)の略で、次世代の通信規格のことです。

8 災害派遣福祉チーム(DWAT) Disaster Welfare Assistance Teamの略称で、災害時の長期間にわたる避難所生活において、高齢者や障がい者、子ども等の要配慮者が体調や心身状況を崩さないよう福祉支援を行う福祉専門職のチームのことです。

三重県議会定例会 今後の日程(予定)

令和2年5月から6月までの日程(予定)は次のとおりです。
5月 8日 代表者会議、議会運営委員会 12日〜14日 代表者会議
15日 本会議(役員改選)
20日 代表者会議
22日、25日、26日 各常任委員会
27日 議会運営委員会
6月 1日 各特別委員会
3日 本会議(議案上程)
8日 本会議(議案質疑)
10日 本会議(一般質問)
12日 本会議(一般質問)
16日 本会議(一般質問)
18日、19日、22日、23日 各常任委員会及び分科会
26日 予算決算常任委員会
29日 代表者会議、議会運営委員会 本会議(採決)
30日 本会議(採決)

この日程は、令和2年4月3日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」をご覧ください。

三重県議会フェイスブック ページのお知らせ

三重県議会では、県民の皆さまに県議会活動を身近に感じ、一層のご理解をいただけるよう、昨年4月から「フェイスブック」による情報発信を行っています。

▲掲載内容▼

- ・議会主催事業のご案内、催し物のご紹介
- ・議会中継や議会提供番組のご案内
- ・議長定例記者会見内容のご紹介 など

最新情報を皆さまにお届けしています。ぜひご覧ください。

https://www.facebook.com/miepref.gikai



▲議会Facebook ページ

次回の発行は、令和2年(2020年)7月1日(水)です。(新聞折り込みは、7月5日(日)に行います。)

みえ県議会だよりは、年7回(4、5、7、8、10、12、2月の各月1日)発行しています。